

## ホームページを開設しています。

秋田バリアフリースターセンターでは、秋田のバリアフリー情報発信・収集をするためにホームページを開設しています。

ホームページでは、秋田県内の宿泊、観光施設のバリアフリー対応状況を施設毎に閲覧できるほか、バスやタクシーの交通サービスや介助サービスを行っている事業者の紹介をいたします。

<https://www.akita-tourism.com/member/barifuri>



## Q & A

**Q** 親が高齢で家族一緒でないと旅行できない。貸切風呂のある宿を探している。

**A** 貸切風呂のある宿をご紹介します。  
合わせて温泉かどうか、事前予約が必要か、利用料金などについてもご案内します。

**Q** バリアフリースターセンターで宿の予約は代行してもらえるか。

**A** 恐れ入りますが、当センターでは宿泊施設の予約の代行は行っておりません。  
お客様ご自身でご予約いただくことになります。  
ただ、ご要望やお体の状態をよくお聞きし、お客様の希望に沿った宿泊施設をいくつかご提案させていただきます。

**Q** 宿泊施設のバリアはどうやって調べたのですか。

**A** 当センター職員(秋田県観光連盟職員)が直接各施設を訪問し、  
パーソナルバリアフリー基準に基づき段差や幅等について測定したほか、  
各施設の方に直接ヒアリングを行いました。



## センター所在地

### アクセス情報

秋田駅から  
「県庁市役所方面行き」バスで  
約10分、「県庁第二庁舎前」にて  
下りてすぐ



## お問い合わせ

秋田バリアフリースターセンター ☎018-838-4188

受付時間 9:00~17:00 (土日祝日年末年始除く) 受付) ✉barifuri@akita-kanko.com

〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目1-1 (一般社団法人 秋田県観光連盟 内)

発行日 2016年2月



「ひと」の数だけ旅がある



平成28年春開設

# 秋田バリアフリースターセンター

みんなが笑顔になれる。  
そんな旅が秋田にはあります。



ねぶり流し館

男鹿水族館 GAO

なまはげ館



きれいな景色が  
見たい!



温泉に入りたい!



おいしい料理が  
食べたい!

高齢や障がいのある方にも秋田の魅力を  
体験いただけるよう旅のお手伝いをします。

# 秋田バリアフリーツアーセンターとは？

あらゆる旅行者の視点に立ち、旅行者にとって障壁(バリア)となっていたことを調査により明らかにし、ご高齢の方、障がいのある方など、行動することに不安を感じていらっしゃる方の不安解

消により、一人でも多くの方に”秋田”へおいでいただき、安全安心で快適に観光や旅行を楽しんでいただくことを目的に平成28年春に設立されました。



旅行者自身が下調べや滞在プランの作成等で負担が大きくなりやすく、受入先も事前情報が無い場合があり適切な対応がしにくい状態。



旅行者の状態に合ったプランの提案等を行い、負担が少なく気軽に旅行を楽しめるようサポートする。



「また来ようね。」  
 いつでも気軽に楽しめる  
 そんな旅をお約束します。

秋田キャッスルホテル

# センターでは、どんなことをしてくれるの？

**秋田県内のバリアフリー観光について**  
**ご相談に対応いたします。**

パーソナルバリアフリー基準に基づき宿泊・観光施設等バリアフリー情報をご案内します。電話、メール、FAXのほかセンターに来所いただいでのご相談にも対応いたします。

**専用WEBサイトにより**  
**秋田県内の宿泊・観光施設の**  
**バリアフリー情報を提供します。**

**移動も楽々!**

**福祉タクシー**  
**(車椅子・ストレッチャー等対応)や**  
**介助サービスなどについても**  
**専門の事業者をご紹介します。**



**おすすめルートをご用意してお待ちしています!**



**観光のプロが名所をご案内!**

**(一社)秋田県観光連盟の中に**  
**併設されており、県内の魅力的な**  
**観光情報やイベント情報もご提供します。**



**ご相談は**  
**すべて**  
**無料**

## パーソナルバリアフリー基準の紹介

パーソナルバリアフリー基準とは、身体に障がいのある人や、高齢によって身体が不自由な人をはじめとする、さまざまなみなさんに旅行を楽しんでいただけるように伊勢志摩バリアフリーツアーセンターによって開発された基準です。パーソナルバリアフリー基準の基本は、

- (1) 障がい者視点の調査により、観光施設などのバリアを明らかにする。
- (2) 常設の相談センターにおいて、利用者からの相談を受ける。
- (3) 「旅のカルテ」システムによって、利用者に満足な旅を提案する。

つまり、バリアを明らかにする調査と、相談システムによって、あらゆる人々の旅を実現しようとするものです。



※本パンフレットに掲載の画像は全てイメージです。